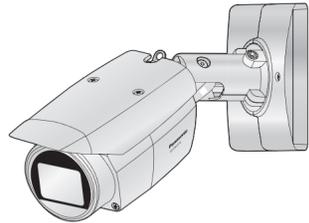


ネットワークカメラ

品番 **WV-SPW311AL**



- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

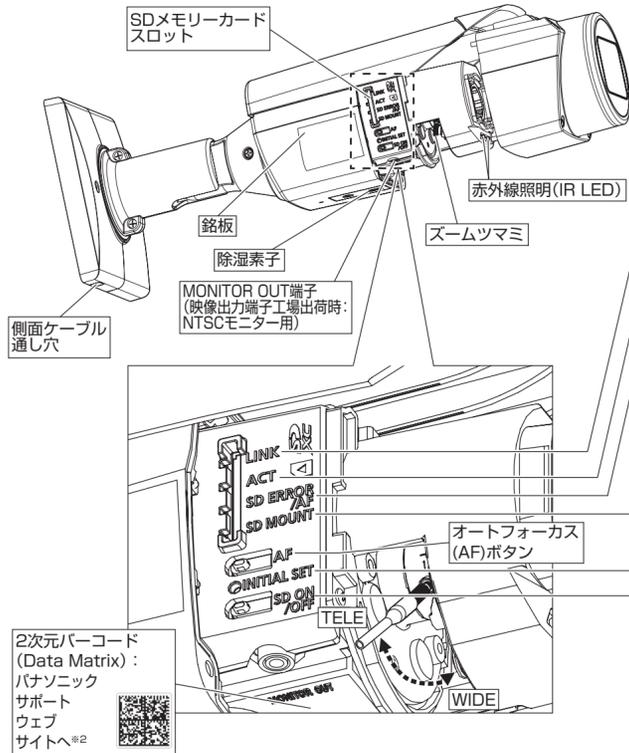
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2017

PGQX1991WA sL0915-3047 Printed in China

各部の名前

本機の各部の名前は以下のようになっています。設置、調整時に参照してください。



※1 SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。
 ※2 読み取りアプリケーションによっては正しく認識されないことがあります。その場合は下記URLを直接入力してください。
http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html

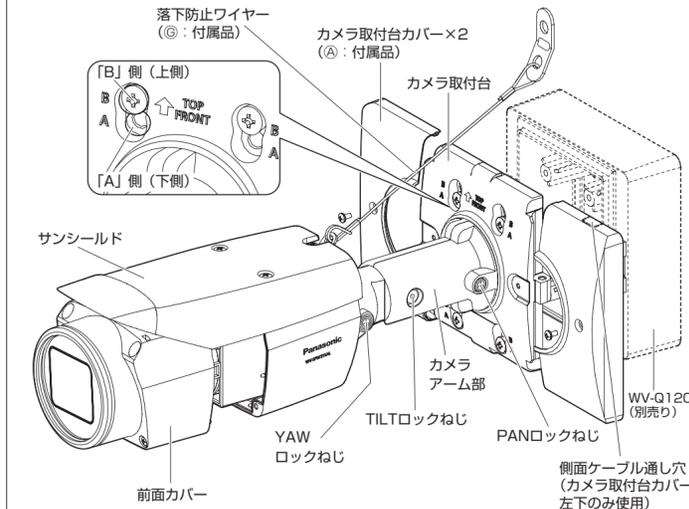
付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編(本書).....1式
 保証書.....#2 1式 CD-ROM #1.....1枚
 コードラベル #2.....1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
 ※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- Ⓐ カメラ取付台カバー.....2個
- Ⓑ カメラ取付台カバー固定ねじ.....3本 (M3×6 mm、1本は予備)
- Ⓒ 防水テープ.....1個
- Ⓓ LANコネクタカバー.....1個
- Ⓔ 4Pアラームケーブル.....1本
- Ⓕ 2P電源ケーブル.....1本
- Ⓖ 落下防止ワイヤー.....1本
- Ⓖ ワイヤー取付金具固定ねじ.....2本 (M3×10 mm、1本は予備)
- Ⓗ ワイヤー取付金具.....1個
- Ⓖ 補助ハンドル.....1個



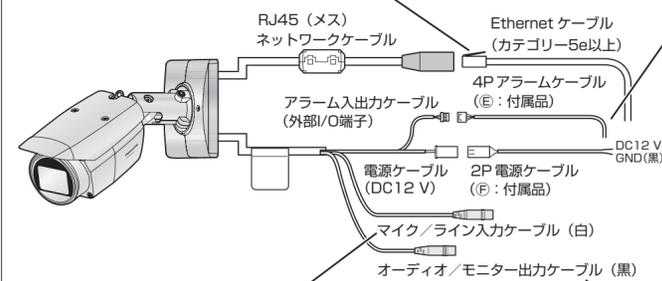
接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム(機器)の電源は切ってください。

Ethernetケーブル(カテゴリ5e以上、ストレート)を接続する

重要

- Ethernetケーブルは4対(8ピンすべて)を使用してください。
 <推奨> パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533 シリーズ(2015年7月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。
 ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され本機が再起動される場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。
- ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機へEthernetケーブル接続するすぐ近くに避雷器を挿入してください。

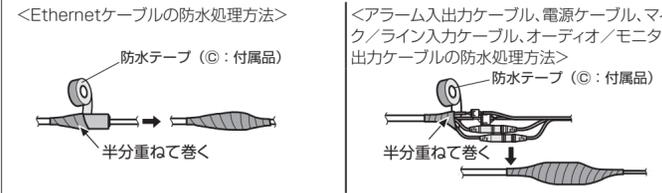


マイク/ライン入力ケーブルとマイクを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス: 約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長: 1 m未満(マイク入力の場合)、10 m未満(ライン入力の場合)
- 推奨マイク: フラグインバワー方式(別売り)
- ライン入力時入力レベル: 約-10 dBV ●供給電圧: 2.5 V±0.5 V
- 推奨マイク入力感度: -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa、1 kHz)

ケーブル接合部の防水処理について

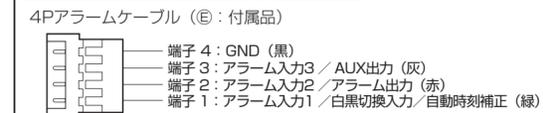
露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。



重要

- 2P電源ケーブル(Ⓔ: 付属品)、および4Pアラームケーブル(Ⓔ: 付属品)と外部との接続部分も同様に防水処理をしてください。
- テープを約2倍の長さ引き延ばし(右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- ネットワークケーブルのフックが外れないように、挿絵に示すようにLANコネクタカバー(Ⓓ: 付属品)をケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクタには、以下の制限があります。挿入時の高さ(コネクタの底~返し部): 最大16 mm、コネクタの幅: 最大14 mm
- 屋外に設置するときは接続管などでケーブルの防水処理をしてください。カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水(JIS IP66相当)です。カメラ取付台とカメラアーム部は防水対応ではありません。

アラーム入出力ケーブルを接続する



定格

- アラーム入力1(白黒切換入力、自動時刻補正)、アラーム入力2、アラーム入力3
 入力仕様 : 無電圧メイク接点入力(DC4 V~5 Vプルアップ内蔵)
 OFF : オープンまたはDC4 V~5 V
 ON : GNDとのメイク接点(必要ドライブ電流1 mA以上)
- アラーム出力、AUX出力
 出力仕様 : オープンコレクタ出力(外部からの最大印加電圧DC20 V)
 OPEN : 内部プルアップによるDC4 V~5 V
 CLOSE : 出力電圧DC1 V以下(最大ドライブ電流50 mA)
 ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。

重要

- 4Pアラームケーブル(Ⓔ: 付属品)は必ず付属品を使用してください。
- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。
- メモ
 ●外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3(アラーム2、3)の設定(Off/アラーム入力/アラーム出力、AUX出力(外部出力))については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

電源ケーブルを接続する

DC12 V電源を使用する場合、2P電源ケーブル(Ⓔ: 付属品)にACアダプター(WV-PS16(別売り)、あるいは市販品)の出力ケーブルを接続します。

| 電源ケーブル | DC12 V |
|--------|--------|
| 赤 | プラス |
| 黒 | マイナス |

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- 2P電源ケーブル(Ⓔ: 付属品)は、必ず付属品を使用してください。
- 2P電源ケーブル(Ⓔ: 付属品)は、電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格(本体底面銘板に表記)を満たすACアダプターを使用してください。

オーディオ/モニター出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

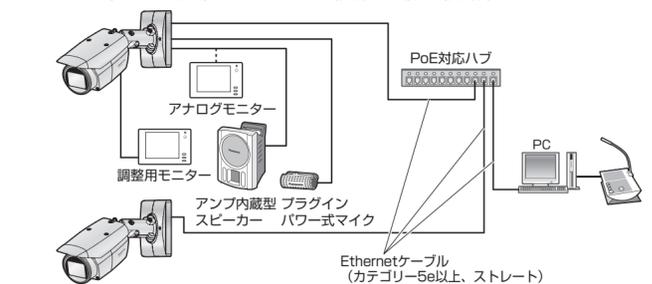
- φ3.5 mmのステレオミニプラグを接続する。
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡
- 推奨ケーブル長 : 10 m未満
- 出力レベル : -20 dBV(モニター出力へ切り換え可能)

重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をOnにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出ることがあります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



<必要なケーブル>

Ethernetケーブル(カテゴリ5e、ストレート)
 PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル(カテゴリ5e、クロス)をご使用ください。

重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字(カメラIDなど)が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

